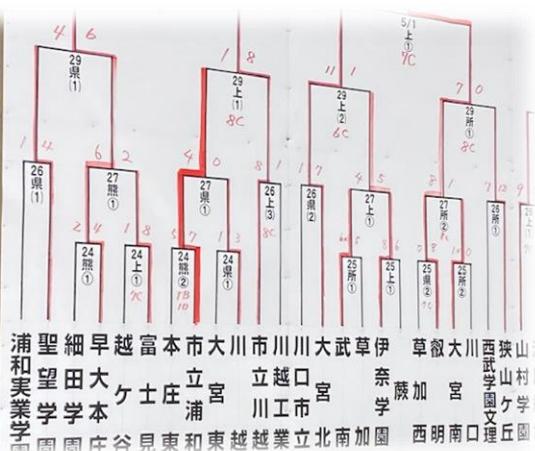


発行日 R 7. 5. 12

発行ナンバー 1178号

好学尚武

様々な仕事



県大会時、メイン球場の大宮公園球場には毎回、大きなトーナメント表（ボード）が掲げられます。上記写真は今春の様子、どこか特定の学校だけ赤い線が太いと思いませんか？（笑）。実はこの作業をメインでやっているのが私なのです。思い入れの強さがラインに出てしましました。失礼しました。

春や秋は40校～50校の出場校、夏は約150校の出場校ですから、このボードも約3倍になります（試合翌日朝の結果記入、結構大変です）。

入場するのに必ず通るところですし、ここを集合場所にしたりもしていますし、記念写真を撮られる方も多くいらっしゃいます。

この夏もたくさん赤ラインを引くことが出来るよう頑張りたいと思います（より太い字で書きたいと考えています・笑）。

球場周りで様々な仕事をしています。
気付いていただければ幸いです。

責任

新入部員が加わったおかげで、休日の試合を2つに分けて実施できるようになりました。ただ、両チームとも遠征であればそんなに問題ありませんが、片方が市高での試合となると、野球すること以外にも仕事があり大変です（審判・スコアボード・グランド整備・サッカーチームとの境界線に立つ・・・など）。

そんなこともあります、先日、市高での試合と相手校での試合という日、遠征組はたった11名でという形になりました（しかもそのうち1名はケガ人）。ただ、人数ギリギリで遠征するのには別の理由も・・・

「責任」を意識させる。これです。

初任校時代、選手がちょうど9名という代がありました。私は9名揃わない日は活動しないという方針を打ち出しました。結果どのような1年になつたかというと・・・1年間誰も休まなかつたのです。私も過激でした・・・1名寝坊した際、他8名に電車賃を持たせ迎えに行かせたりしたことあります。

今のように○○が痛い（ので出来ない）と言ってくることもなかつたです。言つたところで9名しかいないのはハッキリしているので・・・痛めて投げられない子がレフトやライトに守っている・・・なんてことも普通にありました。野球ってそれでも結構、試合は成り立ちます。そんな彼らと公式戦の初勝利を挙げたこと、今でも忘れられない思い出です。

部活動から学ぶ様々なこと、「責任」。
考えてみて下さい。